

スクールカウンセラーといじめ問題

先日、アメリカでお子さんを3人育てた方と、いじめ問題について話す機会がありました。アメリカの学校ではスクールカウンセラーが常駐し子どもたちの心のケアを行い、授業を休んでカウンセラーと話をすることもできるそうです。先生は勉強を教える、スクールカウンセラーがそれ以外を担当するという棲み分けができていて、当たり前のように子どもたちは(親も)スクールカウンセラーに相談するそうです。その結果、いじめを初期段階で解決できていて、日本のようないじめはなかったということです。



もちろん、日本とはあらゆる事情は異なりますが、参考にすべきところもあるのではないのでしょうか。例えば、名古屋市では全国に先駆けてスクールカウンセラーの常勤化を進めています。「名古屋市は14年度に11人の常勤スクールカウンセラーを初採用し、拠点校から市立中学全110校をカバー。2,695件の相談を受けた。84人に増員した18年度の相談は26,320件で、単純計算で10倍に増えた。」(2019年6月11日・中日新聞朝刊)とある通り、スクールカウンセラーの増員とともに相談件数が増えているのは、その必要性の裏付けとなります。

山梨県ではどうでしょうか? 県のスクールカウンセラー活用ガイドラインによると、「平成7年度の6校から始まり、長年の調査研究事業を経て、平成19年度には、国の方針に呼应し、全公立中学校に配置するまでに至りました。」とあります。しかし、常駐ではなく小学校も中学校も週に数日の限られた対応がほとんどです。今年度もスクールカウンセラー募集を行なっておりますが、スクールソーシャルワーカーと共に、まだまだ人数が足りないのが実情だと思えます。

人材確保、現場環境の整備、制度改革等、簡単にいかないかもしれませんが、“今”必要としている子どもたちが大勢いるはずで、子どもたちがもっと気軽に相談できる大人がまわりにいるだけで、いじめを初期段階で解決できる可能性が高くなります。私どもは人権啓発活動を継続して行なっておりますが、特に子どものいじめ問題については、社会全体でもっと意識を持って対応しなければいけないと訴え続けております。その一つとしてスクールカウンセラーが、子どもたちを救える一つの方法であるならば、山梨県も積極的に常勤化を進めて欲しいと願います。子どもたちが安心して笑顔で暮らせる社会の実現のために、私たち大人ひとり一人が人権意識をしっかりと持って子どもの人権を考え守らなければいけません。

活動報告

- 人権啓発パネル展** 7月9日(火)~7月21日(日)、甲府市立図書館と甲府市中央公民館にて「命のメッセージ展」と題して人権啓発パネル展を開催しました。
- 人権啓発講演会** 7月17日(水)、甲府市環境センターにて人権啓発講演会を開催しました。
- 人権映画上映会** 7月20日(土)、甲府市立図書館にて「未来を拓く5つの扉」「誰もが住みよい社会をつくるために」を上映しました。
- 人権移動教室** 6月19日(水)甲府市立南中学校、6月24日(月)甲斐市立玉幡中学校、7月5日(金)甲斐市立敷島北小学校、7月17日(水)甲府市立中道南小学校、7月18日(木)甲府市立千塚小学校において人権移動教室を開催しました。



今後の予定

- 人権啓発パネル展** 8月16日(金)~8月21日(水) 甲府市総合市民会館
- 人権映画上映会** 8月17日(土) 10:30~/13:30~ 甲府市総合市民会館

<お詫びと訂正>

先月号「今後の予定」の人権啓発講演会にて「7月18日(木) 甲府市環境センター」の日程が正しくは「7月17日(水)」でした。ここに訂正させていただきます。

*人権移動教室の授業を受けた子供たちの感想文が、裏面にてご覧いただけます。

協賛：山梨県、甲府市、甲斐市



国連 NGO 横浜国際人権センター山梨ランチ 代表：横山隆史

〒400-0031 山梨県甲府市上町 601-4 甲府市環境センター内 なでしこ工房 1階事務室

TEL. 055-243-8563 FAX. 055-243-8564 <http://yamanashi.yihrc.or.jp/> E-mail. yamanashi@yihrc.or.jp

会員企業：株式会社成心設備、西関東開発株式会社、株式会社ウィルマート、株式会社 R&C

人権移動教室に参加した子どもたちの感想文をご紹介します。

甲府市立玉諸小学校 (女子)

「人の命の大切さ人の権利の大切さ」

ぼくは、まだ少ししか人権のことを知りませんでしたが、でも杉^{たけ}さんのお話を聞いたので今はよく知っています。

人権とは、命の大切にすること。幸せを守る権利だそうです。ただ勝手に人権の意味を知っているだけではだめで、それを実行しなければ、いけないということも学びました。ビデオを見て、正直僕は怖かったです。な

ぜなら、人の死体がふつうに転がっていたかたです。ぼくは、そんな所で生きていたり、救出するのはいやだなあと思っ、ていたけど、「国境なき医師団」の方々は、そんな所でも治りようをしてくれています。思いました。MSFの団体は命の大切さがとても重要だと思っ、ている人が全員だと思っ、ています。ぼくはそんな方々を尊敬します。そしてそのような人命の大切さを重要としてく、るになりたいと心から思っ、ました。

甲府市立玉諸小学校 (男子)

命としあわせのために

ぼくは、今日の人権授業で人権がどのようなものかが分かりました。ぼくは今日まで人権の意味が分からなかったけれど、話を聞いて、人権は「命としあわせを守る」ということで、人を大切にすること、をぼくはすごいなと思っ、ました。ビデオでMSFという団体が、世界にたくさんいる難民や養子出ち^いうで苦しんでいる人々のもとにかけつ

けて、助けたりしている姿を見てぼくは、世界には戦争で苦しんでいる人々を守っ、てあげたいなと思っ、ました。そのために身近な人々にやさしくしたり、困っ、ている人を助けるということ、がしあわせのため、命のためになるということを実感しました。これから生きていくぼくたちも、人のために何かをしたり、助けをあげること、をしていきたいと思っ、ました。今日のことを忘れず、にっ、かりと人権にとりくみたいと思っ、ています。